

図書館報

聖隷クリストファー大学

第17号 2019.4

📖 書籍は五感を刺激するアナログツール（新宮尚人） …… 1	📖 この一冊 …… 5
📖 銀河鉄道の夜を行く（森 一恵） …… 2	📖 電子書籍を利用しよう！！ …… 8
📖 背表紙を眺めること（福田俊子） …… 4	📖 電子ジャーナルを蔵書検索から！ …… 12



書籍は五感を刺激するアナログツール

リハビリテーション学部作業療法学科 教授 新宮 尚人

平成の時代が終わり、4月1日には新たな元号が発表される。入社式や辞令交付など、新しい始まりと重なる方は思い出深い日となることであろう。ところで、新生活を始めるにあたって家電製品を新規購入する機会も増えると思うが、最近の家電製品には取扱説明書が附帯されていないことが多くなったように思う。もっとも、PCやタブレットを通じて各社のホームページにアクセスすれば、PDF化された詳細な取扱説明書がダウンロード出来るので、ひと手間を惜しまなければ不便なことはないが、近年、電子媒体の利便性が強調されすぎ、相対的に紙媒体の価値が下がっているのではないかと思うことがある。今回、改めて図書館報で文章を書かせて頂くに

あたり、紙媒体の役割や価値について考えてみたいと思った。

さしあたって私は「紙面の書籍＝アナログ」、「電子書籍＝デジタル」というイメージで捉えていたので、それが正しい理解かどうか「アナログとデジタル」の定義を確かめてみることにした。すると、「連続的なデータを扱うのがアナログ」で「段階的なデータを扱うのがデジタル」であり、そろばんや囲碁は、数字を段階的に表現しているため、デジタルに分類されることが分かった。私の中には「古いもの＝アナログ」というイメージもあったので、これは新鮮な発見であった。

さらに読み進めていくと、デジタルは「保管や取

り出しが容易」「正確である」「劣化しにくい」「再現性が高い」などのメリットがある一方で、記録された情報はなんらかの原因で、突然再生不能になってしまう危険性もあることが分かった。そのため、テレビやインタビュー取材などの現場では、いざという時にデータの修復が可能なテープ（場合によってはカセットテープ）を使用している場合もあるそうで、アナログがデジタルの欠点を補うという関係性が実に興味深いと感じた。

話は変わるが、私は旅行の楽しみは、乗り物から景色を見たり、寄り道で買い物したり、目的地に至るまでの出来事を含めてのものであると思っている。これに比して、PC検索を通じて瞬時に情報に辿りつくことは、まるで扉を開けたら目的地にいる「どこでもドア」を手に入れたような感覚に似ていると感じることがある。便利であることは間違いないのだが、プロセスが省略されると、辿り着いた先が本当に目的地であるのか、全体の中のどこに位置づけられているのか確認するすべがないために、「物事を俯瞰的に見ることが出来なくなってしまうのではな

いか」という不安に駆られるのも事実である。

書物という紙媒体を通して行う読書は、行間を読み、ストーリーを追体験し、触れることのできる実態を扱う感覚など、旅の楽しみ方に近いものがあるのではないかと考えている。音が柔らかいという理由でレコードを買い求める人がいるように、アナログは人間の持つ生得的な感覚であり、生活の中でデジタルの割合が膨らみすぎると、人はストレスを感じるのではないだろうか。学生教育も同様に、パワーポイントのプレゼンテーションは、工夫をしないと学生自身が筆記等の作業をする機会を奪ってしまう可能性を持ち合わせている。

デジタル化は人間の生活を豊かにするが、そこに適度なアナログを入れていくことで、真に豊かな生活が獲得できるのではないだろうか。書籍は五感を刺激するアナログツールの1つであることは間違いない。デジタルとアナログをバランスよく使いこなし、自分なりの生活スタイルを創ることを、時代の変わり目での自身の目標としたい。



銀河鉄道の夜を行く

看護学部看護学科 教授 森 一恵
(2019年3月退職)

宮沢賢治の著作に初めて触れたのは、小学校の国語の教科書だった。「やまなし」のなかで、クラムボンが「かぷかぷ笑った」の記述について、宮沢賢治とは変わった表現をする人だという記憶だけが残った。そして「雨ニモマケズ」は子供心に暗くて

辛い教訓を感じたので宮沢賢治はすっかり苦手な作家だった。

そんな宮沢賢治が1983年のますむらひろし氏による漫画化で「銀河鉄道の夜」は、叙情的な死生観を語る物語として初めて受け入れられるようになって

た。何事も見てくれが大切で、教材への苦手意識のハードルを下げるには「わかりやすさ」と「かわいさ」が大切だと知った。授業も同じかもしれない。

ますむら版の主人公は「猫」で描かれる。世間の心ない噂からかばってくれる親友のカンパネルラの思い遣りなどが、猫のジョバンニのつぶらな瞳を通して描かれる。家計を支えるために印刷屋でバイトをし、「ケンタウル祭り」には友達と一緒に行けず、母親のために配達されなかった牛乳を取りに行く。ところが、責任者がいないから後で来るようにいわれ、友達目を避け、時間潰しに丘に上ると、突然、「幻想第四次の銀河鉄道」にカンパネルラと二人きりで乗車して旅をすることになる。この旅路は、ジョバンニが、街の祭りで川に落ちた友達を助けようとして溺れたカンパネルラと最期の旅である。

初めの停車場では賢治の地質学の知識に触れる。そして命は何百年も前から連綿と続くが儼く消えることを教えられる。いくつかの駅を通りすぎると、サウザンクロスの大きい十字架の立っている駅でジョバンニ達以外の乗客は降りていく。ジョバンニは二人きりになったので「どこまでもどこまでも一緒に行こう」とカンパネルラに語りかけるが、カンパネルラは涙をうかべて「僕、わからない」と答える。突然、カンパネルラは窓の外を指して「天上がある、お母さんがあそこにいる」と叫ぶのでジョバンニは目を凝らすが見えない。ジョバンニが振り返るとカンパネルラの姿はなく、気がつけば丘の上で目が覚める。街に戻る途中、カンパネルラが溺れて45分も浮かんでこないことを知る。呆然と立っているジョバンニにカンパネルラの父親は「明日、放課後、お友達と一緒に尋ねてほしい」と他の子どもと平等に声をかけるのだった。

カンパネルラの父親が死者との別れの機会を広く呼びかける姿勢は、親しい人との別れを友達として、親子として、カンパネルラに助けられた子どもと、子どもを失った親と、善者も悪者もなく、死の無常とそれを受け入れる心が描かれている。ジョバンニが「どこまでも一緒に行こう」と問いかけ、カンパ

ネルラが「わからない」と答える。一人一人が自分で答えを出すしかないと示唆している。本作品は未完で賢治の伝えたいことは何だったのかを私たちは推察するしかない。私たちが迎えている多死社会には、自分の人生の中には死が免れないものとして存在する。「銀河鉄道の夜」をジョバンニと歩くことは、私たちの人生には限界がありこの限界のある「生」を自分のことだけでなく大切な人々と共有する必要性を教えてくれている。

この物語は未完のため結論は私たちに託されている。私は自分の死生観や人間愛について考えることを賢治に問われ続けている。児童文学作品としては難解なところもあり、ますむら版の漫画・ますむら版の映画を入り口に、慈しむ心や孤独を考える作品であればいいと思う。特にますむら版の映画（文部省特選の折り紙付き！）はYouTubeでも観られる。また、聖隷浜松病院の西の裏に銀河鉄道の夜のモニュメントがある。宮沢賢治は地質学者だけでなく、科学者、音楽家、農業開拓者、地域の支援者で地域をどうしたら豊かにできるか、身を挺して実践した一人だったと私は思う。





背表紙を眺めること

社会福祉学部社会福祉学科 教授 福田 俊子

私の父はとても本の好きな人だった。日曜日には、新聞の読書欄で推薦されている本のなかから自分が読みたいと思うものを選ぶと、ひとりで出かける。行きつけの店で数冊の本とフランスパンを購入し、11時半頃に自宅へ戻り、家族全員で昼食をとる。そんな日常が繰り返されるなかで、私はたくさんの書物に囲まれ、当時の自分にはまったく意味の分からなかった三木清や今和次郎全集の背表紙を眺めながら暮らしていた。

そんな父のうしろ姿を見ていたせいか、あるいは、資格制度が成立する以前の本屋には、社会福祉関連の本が少なく、専門書としてのコーナーなどはなかったからか、学生時代から東京の神田や早稲田にある古本屋街をひとりで歩くのが好きだった。お金がないので大して買うことはなかったが、昭和41年（1966年）に全社協から出版された、H. パールマンの訳本『ソーシャル・ケースワーク 問題解決の過程』が安価で売られているのを見つけた時は、興奮して即購入したことを覚えている。

また、大学院生だった時に、指導教授の研究室で書類の整理などを手伝っていると、洋書購入のチェックリストがあった。そんな書類を眺めながら、研究者というのは国内のみならず、海外の研究動向にも常にアンテナを立てていることを知った。学生に提供してくれる知識は、こうした地道な努力の上に成り立っていることが分かり、大学教員に対する尊敬の念をもつようになった。

社会福祉現場で数年の臨床経験を積んだ後に東京で大学の教員となり、読むことが仕事のひとつになった。それからは、空いた時間があれば本屋に足

を運んだ。社会福祉関連のコーナーにまず立ち寄り、その後は社会学、心理学、人類学、哲学など他の専門分野の書棚にある本の背表紙を眺めては、面白そうなタイトルの本を手にとって中身を確認する。そんなことを続けていくうちに、自分の一生大切にしたいと思う本と「出会う」ことができた。自ら探して見つけたのではなく、背表紙を眺めていたらそのタイトルに魅かれて購入したのだった。まるで本に自分が引き寄せられる。そんな体験である。

現在はインターネットが発達したことで、キーワードで本の内容を検索すれば、立ちどころに書名や出版社が判明し、翌日にはその本が手元に届くという便利な世の中になった。自らが探すという行為を手助けしてくれるツールが多様になり、時間をかけずに必要な文献を見つけることができるようになった。一方で、この便利さは「出会う」機会を奪っているように思える。浜松に居を構えるようになって残念なのは、こうした機会がめっきり減ったことだ。

社会福祉学は、人文学も射程に入れながら社会科学を基盤とした学問である。大学・大学院で学ぶ時間においては、社会福祉分野における独自の知見の蓄積を学修しつつ、多元的で多層的な構造をもつさまざまな事象を読み解く鍵を示してくれる、他分野の研究動向にも興味をもって「面白い」と感じ、ワクワクするような概念などに出会える体験ができるとうい。

学生・院生の皆さん、時にはスマホやパソコンから離れて図書館や本屋へ行き、社会福祉分野以外の書棚に並ぶ本の背表紙を眺めてみませんか。そこには「新たな出会い」があるかもしれませんよ。

この一冊



本学教員からのお勧めの一冊

(五十音順)

『島もよう』

エスプレ



私は、離島で保健師をしていた時期があり、人生において、それはそれはすばらしい経験を、たくさん積むことができました。今回、ご紹介する一冊の本、『島もよう』は「東京の離島」の魅力がたくさん詰まった一冊です。「東京の離島」と紹介されていますが、いわゆる「伊豆諸島」の離島です。じつは静岡県からとても近いところにたくさんの離島が存在しています。みなさまご存知でしたか。

島に住民の方が生活している限り、どのような島でも、医療や看護のサービスが必ず必要となります。この本をぜひ、手にとって、少しでも離島の雰囲気を味わっていただき、離島の医療や看護に興味を持ってくださると嬉しいです。(離島関連の本はたくさん所有しておりますので、興味のある方はいつでもご連絡ください。離島保健師時代のエッセイ集も、こっそりと執筆中です！)

看護学部看護学科 助教 小池 武嗣



『智恵子抄』

高村光太郎著 日本図書センター



私は、高村光太郎の詩集『智恵子抄』を紹介します。この詩集は、高村光太郎が智恵子と結婚する前から、結婚し智恵子が亡くなるまでの折々を詩にしたためのものです。

智恵子は結婚生活の途中から精神疾患を患い入退院を繰り返すようになります。『智恵子抄』の「山麓の二人」の中に「この妻をとりもどすすが今は世にない」と記されているように、智恵子が生きた時代は精神疾患を治療する方法がほとんどありませんでした。そして、精神疾患に対しての差別が激しい時代でした。精神疾患をもつ当事者としての智恵子、そしてその智恵子を支える家族としての光太郎が生きた苦難の歴史が描かれています。

社会福祉学部社会福祉学科 助教 佐々木 正和



『やってはいけない脳の習慣：2時間の学習効果が消える!』

横田晋務著 青春出版社



スマートフォンやパソコンは私たちの生活の中でなくてはならないものになりつつあります。しかし、あまりの便利さに、その裏に潜む危険性を認識しにくくなっているのではないのでしょうか。

本書はスマートフォンやパソコンが脳に与える影響について、脳科学の見地から説明しています。

ぜひ、皆さんに読んでいただきたい一冊です。

リハビリテーション学部言語聴覚学科 助教 佐藤 豊展



『スマホを落としただけなのに』

志駕晃著 宝島社



スマホの所有者なら、落したり置き忘れたりした経験が一度はあるでしょう。本書はタイトル通りのこの一見些細な出来事からストーリーが展開します。登場人物の心理や心の隙を突くテクニックの描写が秀逸で、安易なスマホの利用に警鐘を鳴らす好作であると言えるでしょう。難解な技術も良く咀嚼されており、情報モラルや情報セキュリティを改めて考える機会にもなるのではないのでしょうか。「情報処理」を受講した人、同名の映画を観た人も是非手に取って頂きたい一冊です。

リハビリテーション学部理学療法学科 教授 津森 伸一



『無私の日本人』

磯田道史著 文藝春秋



「地球上のどこより財布を落としてもきちんと戻ってくる国」とあともぎにもありますが、そんな日本人の清廉さを揺るがされるような事件が後を絶ちません。

聖隷の始まりもそうであったように、昔から日本の社会は、表舞台に立たないけれどもそこに在る人たちのために、またその地域のためにと、我欲を求めず一心に力を尽くした人たちによって支えられてきたのではないかと思います。そのような日本人の真心を失わないようにしたいと思います。

助産学専攻科 助教 三輪 与志子



『伸ばそう！コミュニケーション力』

：不器用でも、体力なくても、友だちいなくても、今日からできるワクワクトレーニング』

森嶋勉著 花風社



著者は大阪で障害者スポーツ指導員として勤務したのち、「児童デイサービス チットチャットスポーツ塾」を開設し、スポーツを通して、場面を共有し、関係性を育て、自主性、意欲、自己肯定感を育む指導をしています。

自分のコミュニケーション力を伸ばしたい方にも、発達が気になる子どもや大人の支援に関わる方にも、写真や漫画、イラスト満載で実用的な内容です。それでいて、精神科医の中で一目置かれる神田橋條治氏が『発達障害をめぐって（岩崎学術出版社）』の中で紹介している程の役立つ本です。

社会福祉学部 こども教育福祉学科 准教授 和久田 佳代





本学大学院生からのお勧めの一冊

『筋肉と関節の機能解剖パーフェクト事典』

左明, 山口典孝著 ナツメ社



機能解剖学は、筋肉が骨のどの部分に付いていて、関節がどのように可動するのかを科学的に分析し、研究する学問です。この分野の知識は医師をはじめ、各セラピスト、スポーツトレーナーなどを目指す人にとって、避けては通れない道でしょう。しかし、機能解剖学の勉強を簡単だと思う人はいないはずです。

この図書は、機能解剖学という学問に立ち向かう壁をなくすべき、3次元イラストで視覚的にとらえ、筋肉と関節の働きを立体的にイメージングするアプローチを心がけて書いてあります。

この中には、機能解剖学の紹介がとても細かく書いてあります。生理学の基礎や筋肉の図もあり、勉強しやすい図書です。頭の中で、3次元にイメージングすることができ、また、科学的に筋肉のトレーニングの方法や図もたくさん含まれているので、医療スタッフだけでなく、皆が使える図書だと思っています。



リハビリテーション科学研究科(博士前期課程)院生

2018-2019年度図書館サポーター

YANG HONG

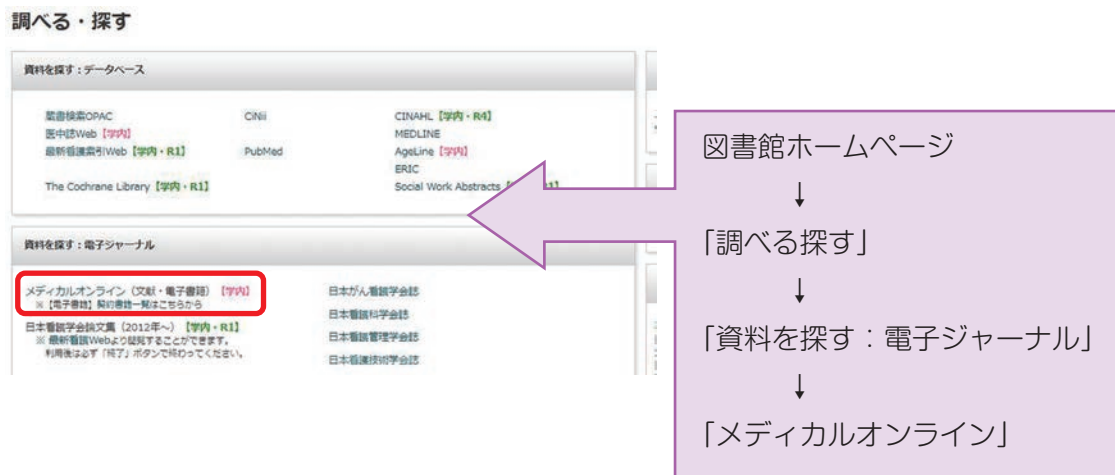
電子書籍を利用しよう！！

本学図書館で所蔵している利用の多い図書です。



これらの図書は、**電子書籍**として「**メディカルオンライン イブックス ライブラリー**」からも、閲覧できます。他にも約3,500冊の電子書籍が利用できます。アクセス数は無制限なので、いつでも利用可能です。ぜひアクセスしてみてください。

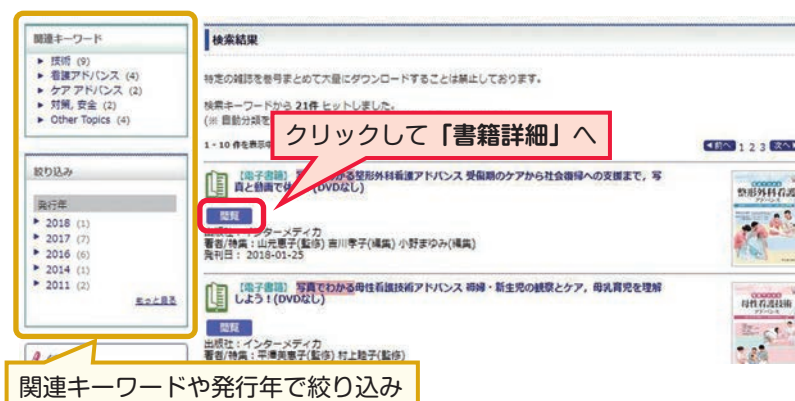
1. 「メディカルオンライン イブックス ライブラリー」は「メディカルオンライン」にアクセスして利用します。



2. 「メディカルオンライン」画面の「電子書籍」をクリックすると「メディカルオンライン イブックス ライブラリー」画面になります。「キーワード検索」をすると、「検索結果」画面が表示されます。「オプション検索」では、タイトル、著者名、ISBN等から検索ができます。



3. 「検索結果」画面の「閲覧」をクリックすると「書籍詳細」画面になります。絞り込みは、画面の左側でできます。



4.「書籍詳細」画面の「閲覧」をクリックすると電子書籍が表示されます。

📖 閲覧 (HTML5形式) をクリックすると、本が最初から表示されます。

📖 閲覧 をクリックすると、その章が表示されます。

書籍詳細

	書籍名	写真でわかる整形外科看護アドバンス 受傷期のケアから社会復帰への支援まで、写真と動画で体験！(DVDなし)
	出版社	インターメディカ
	発行日	2018-01-25
	著者	山元恵子(監修) 吉川孝子(編纂) 小野まゆみ(編纂)
	ISBN	9784899963714
	ページ数	162
	版数	初版第1刷
	分野	看護学 > 臨床/成人/老人
シリーズ	写真でわかる シリーズ	
閲覧制限	同時閲覧数は無制限	

『写真でわかる整形外科看護』を加筆改訂!!豊富な写真で整形外科看護特有の技術を解説した好評書『写真でわかる整形外科看護』に、代表的な整形外科疾患である大腿骨頭部骨折のケアの流れを『疾患編』として加筆し、より実践的になりました。学生・新人看護婦が正確・安全に実践できるよう、専門知識もわかりやすく解説!

書籍を読む場合は、「閲覧」ボタンを閲覧形式 (FlashまたはHTML5形式) **クリックして最初から閲覧**

📖 閲覧 (HTML5形式)

目次

表紙	P.1	📖 閲覧
まえがき	P.2	📖 閲覧
CONTENTS	P.3	📖 閲覧
執筆者一覧	P.4	📖 閲覧
本書をご活用いただくために	P.5	📖 閲覧
CHAPTER1 受傷期のケア	P.6	📖 閲覧
CHAPTER2 保存療法期のケア	P.20	📖 閲覧
CHAPTER3 手術期期のケア	P.64	📖 閲覧
CHAPTER4 リハビリテーション期のケア	P.90	📖 閲覧
CHAPTER5 疾患編 大腿骨頭部骨折	P.130	📖 閲覧
CHAPTER6 社会復帰への支援とケア	P.142	📖 閲覧

クリックして章の閲覧

5. 電子書籍の画面ではページの左端・右端をクリックすると、前後にページが移動します。

① ② ③ ④ ⑤

⑥ ⑦ ⑧ ⑨

保存療法期のケア

CHAPTER 2 保存療法期のケア

受傷後の患部の安静と固定を保つためのケアを行う。保存療法により患者が痛みから解放され、「楽になった」と実感できるように固定や牽引を効果的に実施に実施する。本章では骨折、脱臼を想定し、包帯、三角巾、シーネ、ギプス、牽引による固定の診療補助について解説する。

ケアのポイント

- 日常生活における、各関節の良肢位の理解
- 安静・固定による二次的障害の発生の予防
- 神経障害・循環障害の観察と不可逆的障害発生の予防
- 保存療法中のリハビリテーションと通院ケア

包帯固定

包帯固定には患部の安静と保護、整復などの目的がある。包帯は形状により巻輪包帯 (以下包帯と略す)、管状包帯 (ネット包帯) に分けられ、綿・ガーゼ包帯、弾性包帯、絆創膏、三角巾、ネット包帯、ギプス包帯などの種類がある。包帯の結び方、巻き方、とめ方が治療結果に影響を及ぼす。

巻輪包帯

① 同じ太さの小さい範囲に包帯を巻く方法であり、1回巻いた上に同じように重ねていく。

<画面上部のメニュー>

① 目次を表示

② サムネイルを表示

③ キーワード検索

④ 表示ページの印刷

⑤ 印刷用データ生成

⑥ 表示ページのブックマーク ※


⑦ メモの書込み ※

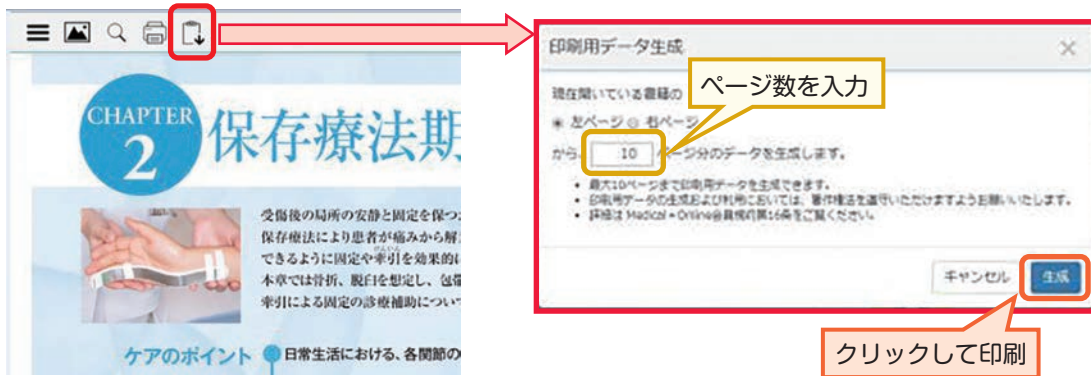
⑧ 表示方法 (1ページ・見開き) の切替

⑨ フルスクリーンに切替

※は「MYページ」ログインのみの表示

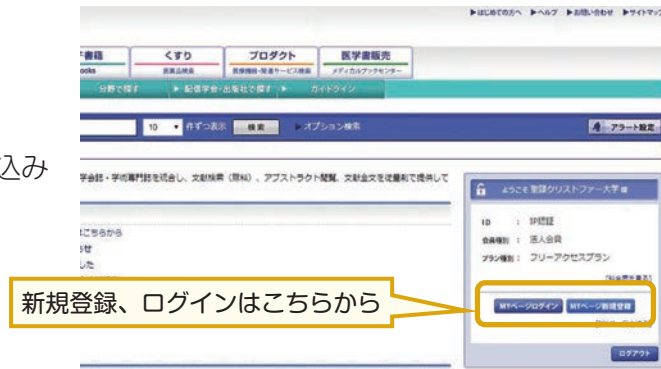
◆「⑤印刷用データ生成」では、まとめて印刷をすることができます。

をクリックすると「**印刷用データ生成**」ダイアログボックスが開き、最大10ページの印刷用データが生成できます。「**ページ数**」を入力して「**生成**」ボタンをクリックし印刷をします。



◆「MYページ」に登録すると、以下の機能が利用できます。

- ・アラートメールが届く
- ・検索条件を保存できる
- ・閲覧履歴の確認、ダウンロード
- ・電子書籍のブックマーク、メモの書込み



「メディカルオンライン」について

- ・「**メディカルオンライン**」では、「**電子書籍**」以外にも「**文献**」の**検索・PDF閲覧**、「**くすり**」や「**プロダクト**」(**医療機器等**)の検索等ができます。
- ・**学内のどこからでも**利用ができます。(アクセス数無制限)
- ・**リモートアクセス**：実習先や自宅など学外から利用ができます。(学内者限定)
※リモートアクセスのID・パスワードは毎年4月にメールで配信します。

電子ジャーナルを蔵書検索から！

「蔵書検索 OPAC」の検索結果の「電子ジャーナルを表示」から「メディカルオンライン」や「Journal Web」等の電子ジャーナルが閲覧できます。

 **電子ジャーナルを表示** をクリックすると電子ジャーナルの掲載画面に移動します。

雑誌名をクリックすると「検索結果詳細」画面が表示されます。

<和雑誌>

蔵書検索OPAC（検索結果一覧）

雑誌：1-3 (3件)

1. **小児保健研究**
小児保健研究会 [編], 小児保健研究会.
1976-2016 製本雑誌

2. **小児保健研究 [機械可読データファイル -- リモートファイル]**  **電子ジャーナルを表示**
日本小児保健協会.
1969～ 継続中 電子ジャーナル

3. **日本小児保健協会学術集会：講演集**
日本小児保健協会.
2017-2018 継続中 新着雑誌

蔵書検索OPAC（検索結果詳細）

小児保健研究  **電子ジャーナルを表示**

ショウニ ホケン ケンキュウ
日本小児保健協会
東京

ブックマーク

● IDENT: <http://mol.medicalonline.jp/library/archive/select?jo=cx3child>

● 雑誌の所蔵:

所蔵番号	請求記号	所在	所蔵年	受入継続	備考
1	+	電子ジャーナル	1969～	継続中	

● 創刊・終刊: 1巻1号 (昭8)-

● G/SMD : 電子ジャーナル

● 別誌名 : ファイル (wr)

● 注記 : Access: via WWW

● 出版国 : 日本

● 閲覧可能な年を確認

メディカルオンライン

バックナンバー：小児保健研究

【2施設の院内感染対策エピソードを紹介】富士ドライケムIMMUNO AGシリーズの公開

dev.medicalonline.jp (メディカルオンライン プロダクト エピソード)

● 巻号をクリックしてPDFを閲覧

年	77-1	77-2	77-3	77-4	77-5	77-6	77-suppl
2018							
2017	76-1	76-2	76-3	76-4	76-5	76-6	76-suppl
2016	75-1	75-2	75-3	75-4	75-5	75-6	75-suppl
2015	74-1	74-2	74-3	74-4	74-5	74-6	
2014	73-1	73-2	73-3	73-4	73-5	73-6	

<洋雑誌>

蔵書検索OPAC（検索結果一覧）

雑誌：1-3 (3件)

1. **Child & family social work**
Blackwell Science.
2002-2015 製本雑誌

2. **Child & family social work [機械可読データファイル -- リモートファイル]**  **電子ジャーナルを表示**
Blackwell Science.
1996-2018 継続中 電子ジャーナル

3. **Child & adolescent social work journal : C & A**
Human Sciences Press.
2002-2014 製本雑誌

蔵書検索OPAC（検索結果詳細）

Child & family social work  **電子ジャーナルを表示**

[Oxford] : Blackwell Science

ブックマーク

● IDENT: [http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1111/\(ISSN\)1365-2214](http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1111/(ISSN)1365-2214)
<http://www.blackwell-synergy.com/loi/cfs>

● 雑誌の所蔵:

所蔵番号	請求記号	所在	所蔵年	受入継続	備考
1	+	電子ジャーナル	1996-2018	継続中	

● 創刊・終刊: Vol. 2, issue 1 (1997)-

● G/SMD : 電子ジャーナル

● 別誌名 : ファイル (wr)

● 注記 : Access: via WWW
Electronic journal articles are available in PDF
Subscription required for access to full text

● 閲覧可能な年を確認

Journal Web 契約出版社サイト

CHILD & FAMILY SOCIAL WORK

HOME ABOUT CONTRIBUTE BROWSE

Issue archive

2019 - Volume 24

2018 - Volume 23

2017 - Volume 22

2016 - Volume 21

2015 - Volume 20

2014 - Volume 19

● 巻号をクリックしてPDFを閲覧

Volume 24, Issue 1
Pages: 1-163
February 2019

図書館は公共の場です。マナーを守ってお互い気持ちよく利用しましょう。

図書館報 第17号 / 発行・聖隷クリストファー大学図書館 / 2019年4月1日

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 / TEL: 053-439-1416 / FAX: 053-414-1146

E-mail: cl-library@seirei.ac.jp 図書館ホームページURL: <http://lib.seirei.ac.jp/library/>